

エグゼクティブ・サマリー

調査結果

GTR に関して検証可能な情報は、公開された情報の中にはほとんど存在しない。「グローバリティック ス・テクノロジー・リサーチ(Globalytics Technology Research)」は、2020 年第 3 四半期頃に最初に登場したようである。同社と関連がある事業体である GRSE は、それより少し前の 2020 年初頭に、中国語のメディアに登場している。

◆会社の事業

イングランド及びウェールズの事業

イングランド及びウェールズで設立され、「グローバリティックス」の名称を使用する 2 つの事業体が存在する。両社共にトム・モリソンという名前の個人と関係している。

Globalytics Research System Enterprise Limited

Globalytics Research System Enterprise Limited (会社番号 09804859)は、2015 年 10 月 1 日に「24 Concepts Ltd」として設立された。2019 年 12 月に商号を Globalytics Research System Enterprise Limited に変更し、2021 年 6 月 22 日に解散された。この頃、GTR はメンバーに対する支払いを停止した。

同社の届出の記録によると、Globalytics Research System Enterprise Limited は、設立時から 2019 年 11 月 28 日までの間、休眠会社であった。その間、同社には 2 名の取締役、Peter Anthony Valaitis (2015 年 10 月 1 日から 2019 年 10 月 3 日まで) 及び Bryan Anthony Thornton (2019 年 11 月 15 日から 2019 年 12 月 16 日まで)がいた。

トム・モリソンは、2019 年 12 月 16 日に同社の唯一の取締役となっており、同日に同社は Globalytics Research System Enterprise Limited の商号を使い始めた。

同社に関して最後に登記された事務所の住所は、30 Peel House, Suite 28 The Downs, Altrincham,

Cheshire, England, WA14 2PX であった。Globalytics Tech Research Limited

Globalytics Tech Research Limited (会社番号 13071574) は、2020 年 12 月 9 日に、Globalytics Technology Research Limited として、資本金 100 英ポンドで設立された。同社は 2021 年 1 月 7 日に、現在の短縮された名称である「Globalytics Tech Research Limited」を使い始めた。

トム・モリソンは、同社の最初のかつ唯一の取締役であり、また実質的所有者(beneficial owner)でもある。提供されている最新の連絡先は、ロンドン南部の住所である Effra Mansions, Flat 7, Crownstone Road, London, United Kingdom, SW2 1LU である。

米国の事業

GTR は、米国内に物理的な事業拠点を有していないようである。

GTR は、その宣伝資料において、米金融犯罪捜査網(US Financial Crimes Enforcement Network (FinCEN))が運営するマネー・サービス業 (MSB)登録サービスに同社が登録されていると説明する。³

このデータベースを検索した結果、GTR は上述の英国の 2 つの事業のうち最初の方の Globalytics Research System Enterprise Limited の事業を、2020 年 10 月 9 日にコロラド州デンバー市で登記していたことが判明した。同社は、米国の全ての州及び準州でマネー・サービス関連事業を行うために登記されていた。

Globalytics Research System Enterprise Limited という名称を持つコロラド州又はデラウェア州に登記された法人は存在しないようである。

GTR がその事業を登記したコロラド州の住所は、以下の通りである。1099, 18th St Ste 2900 Denver, CO 80202-1929

この同じ住所を、EverWest Real Estate Investors という商業不動産会社も有している。⁴

同社は安定した基盤を持つ不動産会社と思われ、Better Business Bureau によって A+と認定されている。⁵ この会社と GTR の間に関係は認められていない。

中央アジアの事業

GTR の英語、中国語及び日本語の宣伝用パンフレットによると、GTR は、ウズベキスタンではなくカザフスタンにその事業を登記しているとされる。

カザフスタンの公開されている法人記録を調べたところ、Globalytics Tech Research Ltd. (ロシア語で ГЛОБАЛИСТИК ТЕХ РЕСЕРЧ ЛТД)という会社が見つかった。同社は 2020 年 11 月 2 日に会社番号 201140002053 の有限責任会社として登記されている。

同社には、Stavkin Sergey Pavlovich という名の取締役が 1 名おり、同氏は他にも 19 社の取締役を務めている。同社の事業内容は、「他のグループに分類できない、その他の種類の金融サービス(保険及び年金業務を除く)」と記されている。

同社の登記住所は、174 Ulitsa Q. Amanzholov, Uralsk G.A である。ウラリスク(Uralsk) は、ロシアとの国境に近い、カザフスタン北西部の都市である。この住所は他の複数の会社によって使用されているようであり、同社がいわゆる「ペーパーカンパニー」であることを示唆している。

同社の事業が直接カザフスタンに関係していないかぎり、カザフスタンは、会社を営む法域として通常の法域ではないと当社は考える。

中国の事業

当社では、中国又は香港において GTR の子会社を確認できていない。当社は、「GRSTAR Official」という WeChat の公式のアカウント(WeChat ID gh_6d7c5c279f0c)1 件を確認したが、これは GTR とブランドを共有する事業体である GRSE の事業に関係していると思われる。

このアカウントは、Wanning City Jianhuailv Network Technology Workshop (万宁市建怀绿网络科技 工作室 — 统一社会信用代码 91460000MA5TLXFU8J)という会社によって運営されている。同社は 2020 年 8 月 19 日に海南省万宁市に、現時点で同社の法律上の代表者を務め、単独株主でもある Yang Tonghong (杨通红)という個人によって設立された。

同社の住所は No. 60 Binhu Village, Wancheng Town, Wanning City, Hainan(海南省万宁市万城镇滨湖村 60 号)である。

Credit China⁷における Wanning City Jianhuailv Network Technology Workshop の記載事項によると、同社に関して「注意すべき事項」があり、State Association for Market Regulation の万宁市支所によると、同社は、8月24日に必要な年次報告書を提出していない。⁸

◆Arena Trade に関する調査

GTR 以外の現時点の顧客に関する情報

Arena Trade が GTR 以外の顧客のブローカーを務めているという情報は確認されなかった。GTR が関係する全ての取引は、2020年12月以降に行われており、ブローカーとしての Arena Trade に関する最初のウェブ上の書込みは 2021年3月に登場する。こうした書込みは全て、Arena Trade が適法な確立されたブローカーであると見せかけるために設定されたアカウントから行われている疑いがある。

Arena Trade が GTR 以外に、いずれかの業務に関してブローカーを務めていることを示唆する情報は存在しない。なお、Arena Trading Technology Pty Ltd というオーストラリア法人は、かつて華僑を顧客とする伝統的な証券会社であった。香港の関連法人は存続しており、香港で有価証券取引を行う許認可を有している。

Arena Trade が GTR の資本を保有しているかに関する情報

ArenaTrade が GTR の資本を保有しているかに関する情報は、公開情報においては確認されなかった。

現時点で Arena Trade を運営していると考えられている事業体、Arena Trading Technology Pty Ltd は、インド西ベンガル州コルカタの住民である男性によって支配されている。2020年8月まで、同社の株式は Algoal Technology Pte. Ltd. というシンガポール法人によって保有されていた。後者は現在、中国本土の取締役1名とシンガポールのセクレタリー1名によって支配されている。

ジェームズ・ローレンスに関する情報

Arena Trade 又は GTR に関連するジェームズ・ローレンスという人物についての情報は確認されなかった。同氏は、架空の人物であるか、Arena Trade の一般の従業員である可能性が高い。

当社は、プロフィールで暗号資産、FX 取引及びビジネス分析について言及している、ジェームズ・ローレンスという名の英国在住の人物 1 名を特定した。この人物は、当たり障りない合法的企業に勤務していると思われ、架空の人物のモデルとなった可能性がある。

当社は、調査を進めるため、Arena Trade 及び同社に関連する既知の人物及び事業体の経歴を探ろうと試みた。上記で触れたとおり、Arena Trade(別名 Arena Trading Technology Pty Ltd)は以前、華僑をターゲットとする証券会社として運営されていた。香港に関連企業が存在し、Po Tai Securities (Hong Kong) Limited (寶泰證券(香港)有限公司)として引き続き運営されている。この会社は、Arena Trade の背後にある運営組織の経歴について情報を提供することができる可能性がある。

また、Arena Trading Technology Pty Ltd は、2018 年 4 月から 2019 年 2 月までの間、Chun Shing Global (Aus) Pty Ltd 又は Sun Long Global (Aus) Pty Ltd の社名で運営されていた。この期間における、同様の名称の香港企業との関係は確認されなかった。

Arena Trading Technology Pty Ltd の現取締役である James Ding Weiguo(以下、「デイン」という。)は、2019 年 4 月 23 日に取締役に任命された。その 1 ヶ月後に、シンガポールで設立された Algoal Technology Pte. Ltd という会社が Arena Trading Technology Pty Ltd の唯一の登録株主となった。

Arena Trading Technology Pty Ltd が現在運営しているウェブサイトは、2020 年 8 月 31 日に登録されており、Algoal Technology Pte. Ltd は、2020 年 8 月 26 日に保有株式を Sudarshan Bagla というインド人に譲渡した。

前項で述べたとおり、「Arena Trade」は、2020 年 12 月に GTR のブローカーとしての業務を開始した。同じ月に、GTR を運営していると現時点で考えられている事業体が英国で設立されている。

Algoal Technology Pte. Ltd、Arena Trading Technology Pty Ltd、デイン取締役、インド人の Sudarshan Bagla 及び GTR・モリソンがどの程度の間接的な関係を有しているかは不明である。

◆GTR 及び FCA に関する調査

GTR の FCA 免許

GTR は、いかなる業務の提供に関しても金融行為規制機構(FCA)において登録されていない。MLM 企業が FCA 免許を取得する可能性

明らかに MLM を業とする企業は FCA のウェブサイトに登録されておらず、また、FCA は、消費者及び投資家に対し、ポンジ・スキーム又はピラミッド・スキームに関与しないように明らかな警告を行っている。FCA は、MLM スキームをピラミッド・スキームの一形態と考えている。

MLM 企業が FCA 免許の取得に成功する可能性は極めて低いと思われる。

顧客取引及び FCA 免許に関する規則

FCA 免許を申請するための前提条件として顧客取引の停止を求める規則は存在しない。

当然ながら、英国で営業する企業は、例外的に限定された状況にある場合を除き、FCA に登録しないかぎり、英国の顧客に対して金融サービスを提供することはできない。

FCA は「オフショア」企業との取引についてはその管轄外とみなしており、そうした取引に携わる消費者を保護する権限を有していない。

◆ダニエル・ホーに関する調査

公開されたプロフィール及び経歴

本顧客によって提供されたダニエル・ホー(以下、「ホー」という。)の説明に一致する個人は確認されず、また、シンガポール又は香港の法人記録の調査においても「Star Systems」を表す可能性がある会社は確認されなかった。

ホーに関して提供された情報とプロフィールが部分的に一致する人物、又は不十分な情報しかない人物は少数であるが確認された。

当社は、ホーについて引用した、複数の言語に翻訳された 2021 年 6 月 28 日付の 1 件のプレスリリースを確認した。その中で、ホーは Star System の共同設立者として説明され、7 月中旬の Star Academy の「エリート・トレーディング・プラットフォーム」の開始につ

いて説明していた。当該企業を発信元とするこのプレスリリース以外に、ダン/ダニエル・ホーという人物と STAR System を関連付ける情報はない。

現時点の所在

当社は、ホーのものであることが確実なプロフィールを見つけることができないため、彼の現時点における所在を確認することができない。

中国で逮捕されたとの疑惑に関連する情報

ホーが中国で逮捕されたとの疑惑に関する情報は確認されなかった。しかしながら、調査を行う間、中国国内の「Operation Card Breaking」として知られる、暗号通貨業界における違反又は不正使用に関する広範な取締についての中国語及び英語の報道記事を数多く確認した。この取締は 2020 年 10 月に開始され、今日までに 311,000 名の個人がこの取締に関連して逮捕されている。ホーがこの取締によって逮捕された可能性はある。

◆ケン・リーンに関する調査

本顧客が提供する GTR 取締役/共同設立者であるケン・リーン(以下、「リーン」という。)の説明に合致する、「Ken Lien」「Kenneth Lien」「Ken Lian」又は「Kenneth Lian」という名前の人物は確認されなかった。

当社は、似たような名前の離婚・移民弁護士「Ken」 Liang Zhiyi を確認した。この人物はほぼ同じ年齢で、カリフォルニア州で 10 年以上弁護士業務を行っていた。この人物は、顧客が国外退去につながる 法的手続きを受けることを妨げたとして司法妨害の罪で有罪判決を受けた後、2019 年 7 月に弁護士資格 を剥奪され、短期の禁錮刑を受けた。

この人物は 2019 年後半から 2020 年前半に刑期を終えている可能性があり、その時期に香港に来ること

は可能である。

◆今後の対応について

今回の2回に渡る国際調査会社からの調査結果を受け、率直な意見としては不透明な部分が多すぎて何かを判断するには不十分な内容だと感じています。

今後、私たちメンバーは下記2点を軸とし行動していきたいと思えます。

- 1) アリーナトレードに関して、資金の開示請求
- 2) GTR社に対して早急な出金請求

1に関してはさらに深度ある調査が必要な為、再度国際調査会社に依頼をし調査を進めてもらう。

一方でアリーナトレードにはGTR社が資金開示請求を行うことが望ましいため、この請求を受けるGTR社の主要人物の特定を合わせて行います。

2に関しては、「GTRメンバーの会」を立ち上げる。

このメンバーの会の目的としては、上記2点（資金の開示請求・出金請求）とします。

来週以降、上記内容に賛同いただける方には「GTRメンバーの会」への参加方法の案内をさせていただきますので、各リーダーより情報を受け取っていただければと思います。

以上です